

「青にこだわるまちづくり ネモフィラ畑」

～来春にむけて参加グループ募集～



担当：本耶馬溪支所地域振興課 江藤（電話 0979-52-2211）

来年の春（令和4年）も、青の洞門周辺を青に染めるイベントを実施するため、今年も各種団体と一緒にネモフィラを育てます。

今年は団体だけでなく、家族単位、また友達同士など、小さなグループでのネモフィラの栽培を計画しています。「ひとつぼネモフィラ畑（仮称）」として参加グループを募集します。

春の本耶馬溪を彩るネモフィラは、その可憐な姿から訪れる人々の心を和ませ、またネモフィラ畑の目の前に悠然とそびえたつ競秀峰の新緑の青と、悠々と流れる山国川をわたる風は、日常の喧騒を忘れさせてくれます。

令和3年の春は、令和2年の春を超える約16,000人の方がネモフィラ畑を訪れてくれました。コロナウイルス流行の中でしたが、訪れた方々は、一定の距離を保ちながら、畑の真ん中を通る市道、通称「ネモフィラロード」をゆっくりと散歩や写真撮影を楽しんでいました。

種まきは11月下旬から12月上旬を予定しています。

みんなで一緒に、青の洞門周辺を青に染めてみませんか。

募集期間・申し込み方法

令和3年11月1日～11月17日

先着10組限定（1グループ4～5人程度）

申し込み方法 電話 0979（52）2211 本耶馬溪支所地域振興課



旧レストハウス洞門の駐車場が使用可能に

旧レストハウス洞門の閉店に伴い、国道212号線側からの青の洞門、競秀峰へのアクセスに一部制限がありましたが、秋の紅葉シーズンへ向けての観光客の駐車場として、また来春のネモフィラ畑耕作作業のため、旧レストハウス洞門の駐車場が9月21日より使用可能となっています。

これから本耶馬溪地域は、紅葉の美しい季節です。

今年の秋も「本耶馬溪で遊ぼう」

